

青年部ニュース

全水道 青年女性部 水環境学習会

No.5 2026年2月2日

発行人 山本 耕平

編集人 清水 晴菜

濱野 笑瑠

立川 紗也香



2025年11月29日(土)から30日(日)にかけて、米子市(鳥取県)において全水道青年女性部の水環境学習会が下記内容で開催されました。青年部から常任委員1名と、北部営業所の前川さんが参加しました。

〇1日目

- ・講義①米子の水道について
(米子水労 吉岡氏)
- ・講義②有機フッ素化合物(PFAS)について
(鳥取環境大学 山本准教授)
- ・グループワーク(講義②についての質問まとめ)
- ・懇親会



PFAS 講義の様子

〇2日目

- ・見学①米子市上下水道局の水質検査棟
- ・見学②米子市上下水道局ステンレス配水池
- ・利き水体験

本学習会では、米子市の水道事業の概要に加え、有機フッ素化合物(PFAS)といった近年注目されている水環境課題について理解を深めました。特に、PFASに関する講義では、その特性や環境中での残留性、人体や水道水への影響について学び、水道事業における重要な課題であることを改めて認識しました。講義後のグループワークにおいて、疑問点等を共有することで、より一層知識と理解を深めることができました。



グループワークの様子

また、米子市上下水道局の水質検査棟や配水池の見学を通じて、地域特性を生かした水環境保全への取り組みを知るとともに、京都市との違いから、自都市の水道事業を客観的に捉える貴重な経験となりました。

青年部では、全国各地で開催される様々な学習会に参加しています。様々な視点から上下水道事業について学びたい方、他都市との交流を広げたい方など、少しでも興味のある方は気軽にお声掛けください。裏面に、参加していただいた前川さんの感想を載せています！

★参加者の感想【北部営業所 前川さん】

この学習会を通して、より一層水への興味を持つことができたと同時に、各都市青年女性部の方々との横のつながりもできたのではないかと感じています。

まず初めに印象に残ったのは米子市の水道事業についてです。大山で蓄えられた地下水を井戸から取水し、消毒をして給水するといった京都市の取水、給水方法とは大きく異なる点に日本各地で様々な取水方法があるのだと気付かされました。

また、新築された水質検査棟の見学では水の硬度について教わる時間があり、硬度の違いで水の性質や味が大きく変わることにとっても驚かされました。

全国各都市から青年女性部の方々が集まり、もちろん全員が初対面でしたので不安はありましたが、話を交わしていく中でお互いを知り、横のつながりを作ることができたのではないかと感じています。

今回の勉強会を通して、水への興味、また他都市と比較することで京都市の水道事業への興味、そして各都市の青年女性部の方々との横のつながりを作ることができました。



水質検査の様子



参加者の集合写真